

NIIGATA SEIRYO NEWS

2015/6 June

NO.11



平成 27 年度 新潟青陵大学短期大学部入学式 入学生宣誓

CONTENTS

01 MESSAGE

- ・しっかりとした人生観、職業観を身につける2年間に
理事長・新潟青陵大学短期大学部学長 関 昭一
- ・地域・社会貢献に積極的に取り組み、社会に開かれた大学・短大へ
新潟青陵大学学長 諫山 正

02 CLOSE-UP

- ・新潟市と新潟と試験大学連合の包括連携協定を締結
- ・阿賀町と包括連携協定を締結
- ・国立妙高青少年自然の家と包括連携協定を締結

03 VOICES

- ・看護を目指す決意を新たにする戴帽式。
厳かな中でも学生たちらしい式に。
- ・大学「保護者懇談会」を開催

04 EDUCATION

- ・講演会「ケニアのストリートチルドレンと共に
～海を越えて支援すること～」を開催
- ・子育て応援隊～つばみのひろば～ 子育て講座のご案内

05 TOPICS

- ・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部
平成26年度卒業生就職状況のご報告

06 REPORT

- ・平成27年度新任教員と平成26年度退職教員のご紹介
- ・大学・短期大学部・大学院 平成27年度新入生数のご報告

07 INFORMATION

- ・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部からのお知らせ

短

しっかりとした人生観、職業観を身につける2年間に



理事長・
新潟青陵大学短期大学部学長
関 昭一

キャンパスの耐震改築は、一期工事の幼稚園が白亜の威容を見せて7月に完工、9月から引越します。保育所部分を足してからの子ども園としての完成は最終3年後の予定です。幼稚園跡地に建設予定の大学、短大棟は図書館を中心に、小劇場をも附置してこの地域の文化的な拠点としても注目されるでしょう。

いま全国の大学は大きな変革の波に洗われています。その第一はグローバル化の波です。太平洋を巡る諸国は大きく経済発展し、米中両国の覇権争いは激化するでしょう。国際的に通用する人材の育成が急務なのです。国内的には高度の技術立国、勤労階級の所得格差拡大の防止、これ以上の地方都市の衰弱の防止の必要が声高に主張されますが、その為にも大学教育の強化と拡大が不可欠なのです。国は来年度以降の奨学金貸付や授業料免除を手厚く改善する筈ですし、本学も独自の授業料減免制度を実施しています。お問い合わせください。志望の四年制大学に不向きと思われるお子さんには短期大学部をお勧めします。短大ではその2年間で勉強に自信を持たせ、難関大学の3年次に編入学した学生の実例があります。もっと長期的には、卒業後にも短大の支援を受ける生涯学習の途もあります。私たちはしっかりとした人生観と職業観を身につけさせて学生を卒業させることに手応えを感じ、受け入れ企業からも賞賛の言葉を頂いています。キャンパス一新の趣きのある私たちの更なる努力にご注目下さい。



平成27年4月2日(木)午前10時30分から、本学体育館で新潟青陵大学短期大学部の入学式が挙行され、人間総合学科・幼児教育学科、合計363名の新生を迎えました。式終了後、オリエンテーションでキャンパスライフに向けた説明が行われました。

大

地域・社会貢献に積極的に取り組み、社会に開かれた大学・短大へ



新潟青陵大学学長
諫山 正

本年4月より新潟青陵大学・同短期大学部は共同の地域貢献センターを設立しました。

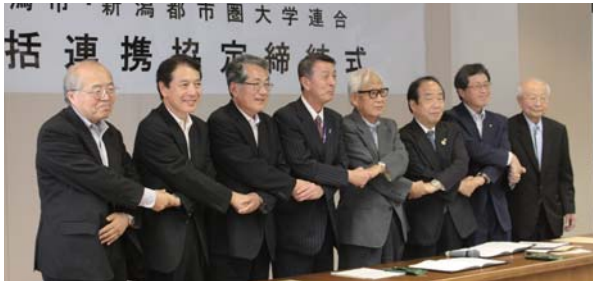
同センターは、地域社会における「ひと」「もの」「情報」交流の「知の拠点」というキーワードにもとづき、地域住民・地域企業・地方自治体との連携による事業、学生と教職員との協働による各種の活動を通じ、「インクルーシブな地域社会」の形成に寄与します。具体的には①新潟市などの地方自治体との包括連携協定の締結、②地域社会(企業、行政、福祉団体等)との連携に基づく人材育成、③地域の医療保健及び福祉分野における行政との協力システムの構築、④卒業生や社会人の生涯学習機関への貢献、⑤地域住民との協力によるまちづくりや地域コミュニティの創出、など地域における課題解決の支援のために、社会に開かれた大学・短大として地域・社会貢献に積極的に取り組んでいます。

去る6月11日には本学が呼びかけ人となって新潟都市圏における専門性の異なる7大学が連携して「新潟都市圏大学連合」を結成し、地域創生をめざす新潟市と包括連携協定を締結しました。これから新潟都市圏の課題解決に即した人材養成、中小企業団体と共同したインターシップなど、地域活性化に貢献したいと思います。また3月に締結された本学と阿賀町との協定では、過疎地域の諸課題を抱える行政と協力して地域の包括ケアシステム構築の支援や、集落の公共施設を利用した学生の実践学習などが予定され、地域住民との交流の場としても期待されています。以上のようにスタートしたばかりの地域貢献センターですが目下フル稼働中です。皆さんのさらなるご支援を期待します。



平成27年4月2日(木)午後2時から、本学体育館で新潟青陵大学・新潟青陵大学大学院の入学式が挙行され、看護学部・福祉心理学部合計240名(看護福祉心理学部福祉心理学科3年次編入学生含む)、大学院看護学研究科7名、大学院臨床心理学研究科10名の新生を迎えました。

大 短

新潟市と新潟都市圏大学連合の
包括連携協定を締結

新潟都市圏を拠点とする大学6校(新潟県立大学、新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、事業創造大学院大学)と短期大学1校(新潟青陵大学短期大学部)が、新潟都市圏大学連合を形成、新潟市と包括連携協定を締結しました。これに伴い、6月11日(木)に新潟国際情報大学新潟中央キャンパスにおいて、包括連携協定締結式が開催されました。

地方創生の動きが本格化する中、大学の研究教育に対する地域社会の期待に応えるためには、大学相互の結びつきを強め、連合された各大学と地方自治体との協働が必要とされています。

新潟都市圏大学連合は専門性の異なる個性豊かな中小規模大学が相互に連携し、新潟市と包括連携協定を締結することによって、人材育成、地域福祉、国際化などの分野で地域に貢献します。

新潟都市圏大学連合に在学する学生にとっては、カリキュラムが豊富となり、地域におけるヴァーチャルな新しいタイプの総合大学の萌芽ともなりうるものです。さらに、多様な大学のクラブ活動やボランティア活動との交流が可能となり、コミュニケーション能力の啓発が加速されるものと期待されます。

また、社会人にとっては、それぞれ個性的な生涯教育を実践する大学が連携することによって、日本型<コミュニティカレッジ>とも言うべき生涯学習組織の常設が可能となります。

今後の新潟都市圏大学連合の取り組みにご注目ください。

阿賀町と包括連携協定を締結

3月25日(水)、阿賀町役場において、阿賀町と新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部との包括連携協定調印式が行われました。

本協定では、地域創生を目指した教育・研究・社会貢献活動において包括連携及び協力し、学生の社会人としての汎用的能力の養成と、地域創生・活性化に寄与することを目的としています。本学として地域創生をめざした教育・研究・社会貢献活動に関わる事項について連携し取り組みを進めます。

さらに今年度に阿賀町鹿瀬支所内にサテライトキャンパスを設置します。ここでは学生が地域住民とのふれあいから課題を把握し改善策を考えることで、学内では体験できないアクティブラーニングの実践の場となることが期待されています。さらに学生の看護及び福祉関連実習拠点としての機能だけでなく、地域住民の生涯学習拠点としても活用する予定です。



国立妙高青少年自然の家と包括連携協定を締結

5月12日(火)、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部において、「新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部と独立行政法人国立青少年教育振興機構との包括連携協定書」の調印式を行いました。

本協定では、本学との共同事業の実施、人材育成等について本学との連携・協力することが定められ、ボランティア活動等を通して培ってきた信頼関係と連携・協力の実績を基盤に、緊密かつ組織的な連携・協力体制の充実に努め、自然の中での活動等を通じた社会貢献及び教育研究の発展に寄与することを目的としています。この包括連携協定の締結を機に、連携がさらに広がるとともに、多くの学生がボランティア活動等を通じて、国立妙高青少年自然の家の事業に積極的に参加し、多様な体験活動を経験することで、確かな指導力、実践力を身につけることが期待されています。国立妙高青少年自然の家との「包括連携協定」の締結は、国立大学法人上越教育大学と妙高市に続き、3番目となります。



大

看護をめざす決意を新たにする戴帽式。
厳かな中でも学生たちらしい式に。



5月9日(土)、来賓の方々および多くのご家族の方々をお迎えして、看護学科2年生の第15回戴帽式が厳かに挙行されました。「看護を目指す決意を新たにする」ことを目的に、89名の学生が看護への新たな決意と強い意志を胸に、「誓いのことば」を宣誓しました。

新潟青陵大学の戴帽式は、学生が主体で企画・実施しています。1年生の10月から戴帽式委員会を立ち上げ、委員長を中心に18名の委員が会議を重ねてきました。立候補による主体的なメンバーで構成された委員会で、委員長を中心に全員で準備に当たりました。

入場、戴帽、灯火、誓いのことば、キャンドルサービス、選曲、保護者に見せる大学でのスナップ写真など、自分たちらしい、心に残る素敵な式にしようと一つ一つ検討を重ねました。委員のみならず学年全体が練習の段階から互いに協力しあう姿が見られ、リハーサルもスムーズにできていました。式当日は、誓いの言葉をはじめとして何回も練習してきた成果が出ており、厳かな中でも学生たちらしい式になっていました。

学生対象のアンケート調査では、「家族の前で戴帽してもらえてよかった」「自分たちらしい良い戴帽式になったと思う」などの感想が見られました。また、ご家族を対象とした



アンケート調査では、感動の想いや学生たちへの激励のことばが多く述べられていました。「看護を目指す決意を新たにする」日となったようです。

大

大学「保護者懇談会」を開催しました



6月6日(土)、大学2～4年生の保護者および学生を対象とした「保護者懇談会」を開催しました。当日は午後から天候にも恵まれ、看護学科・福祉心理学科あわせて145世帯、合計約200名の保護者・学生の皆様からご参加をいただきました。

保護者の皆様からは、「現在2年生の為、まだ早いと思いながら参加したが、今聞いておく事が大事なのだと、話を聞き大変参考になると実感した。」「大学というと子どもまかせであまり関心を持ちづらい感じがあったが、色々と丁寧に説明を聞く事が出来てありがたかった。」「娘の学校での生活の姿が分かり安心した。学校と触れ合う機会が増える事が嬉しい。」「国家資格を取り、就職する事の厳しさが分かった。娘とよく話し合います。」「説明もよく分かり、大変丁寧な対応も有難かった。学校体制で就職対策をして頂いている事をとて有難く思った。」等、多数のご意見を頂戴しました。

現況の経済情勢を鑑みるに、新卒採用においては上向き傾向の期待が持たれています。しかしながら採用時期の変更等々、不透明な部分も多くあります。本学としても精一杯



学生の皆さんへの情報提供等に努めてまいります。



大

**講演会「ケニアのストリートチルドレンと共に
～海を越えて支援するということ～」を開催**


6月5日(金)にアフリカ・ケニアで路上生活を送る子ども達の支援に20年間携わっている松下照美氏の講演会を開催しました。

講演の内容は、家庭の事情で進学できない子ども達の学費支援や、貧しい子ども達のために「モヨ・チルドレン・センター」を建設し、子ども達が将来の夢を持ちながら安心して暮らせるように支援していること、路上で暮らしながら薬物を使ったり、タバコを吸ったりしている子ども達に寄り添い、社会復帰できる道を子ども達と共に探っていることなどの話でした。

講演を聴いた学生からは、施設にいる子どもの将来についてや外国で支援し続ける松下さんの信念をお聞きしたい、などの質問がありました。

最後に、松下氏から学生に向けて「あなたが必要とされる職業」「あなたしかできない職業」を見つけてください、自分の夢に向かって諦めず、その時その時を丁寧に大切に過ごしてくださいとメッセージをいただきました。



大 短 院

**子育て応援隊～つぼみのひろば～
子育て講座のご案内**


昨年の講座の様子

新潟日報社「assh」に掲載されている「子育て応援隊～つぼみのひろば～」と連動し、子育て講座を開講しています。各回とも講座受講料は無料です。(資料代などをいただく場合があります。)ぜひご参加ください。

子育て応援隊～つぼみのひろば～子育て講座
7月4日(土) 10:00～11:30 第2回「親子一緒に遊ぼう」

- 講師 新潟青陵幼稚園 教諭
- 会場 新潟青陵幼稚園
- 定員 20組
- 要申込・無料・保育なし(親子参加)
※主に2歳～4歳の親子向けの内容になります。

8月1日(土) 10:00～12:00 第3回「母と娘の月経教室」

- 講師 池田かよ子(新潟青陵大学 教授)
- 会場 4大学メディアキャンパス ナレッジルーム
(新潟日報メディアシップ6F)
- 定員 20組(40名)
- 要申込・無料・保育なし(親子参加)

9月19日(土) 10:00～11:30 第4回「子どもと楽しむ絵本」

- 講師 原田留美(新潟青陵大学 教授)
- 会場 新潟青陵幼稚園
- 定員 30名
- 要申込・無料
保育あり(別料金、定員10名、対象年齢1歳～6歳(未就学児)まで)

10月10日(土) 10:00～12:00 第5回「子どもの嘘との関わり方」

- 講師 宮崎隆穂(新潟青陵大学短期大学部 教授)
- 会場 4大学メディアキャンパス ナレッジルーム
(新潟日報メディアシップ6F)
- 定員 30名
- 要申込・無料
保育あり(別料金、定員10名、対象年齢1歳～6歳(未就学児)まで)

11月21日(土) 10:00～11:30 第6回「冬に気をつけたい病気」

- 講師 浅見直(新潟青陵大学 教授)
- 会場 4大学メディアキャンパス ナレッジルーム
(新潟日報メディアシップ6F)
- 定員 20組
- 要申込・無料・保育なし(親子参加)

【お申し込み・お問い合わせ先】

新潟青陵大学事務局 子育て講座担当
 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
 新潟日報メディアシップ6F 4大学メディアキャンパス
 TEL: 025-278-3875 FAX: 025-278-7059 E-mail: ex@n-seiryu.ac.jp
 受付時間: 9:00～17:30(土・日・祝日・休業日は除く)

大 短

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 平成26年度卒業生就職状況のご報告

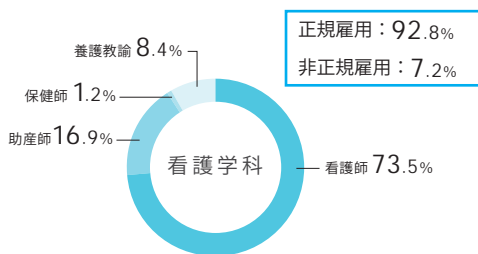
新潟青陵大学看護福祉心理学部 学科別就職率・内訳

看護学科	100%
福祉心理学科	98.3%

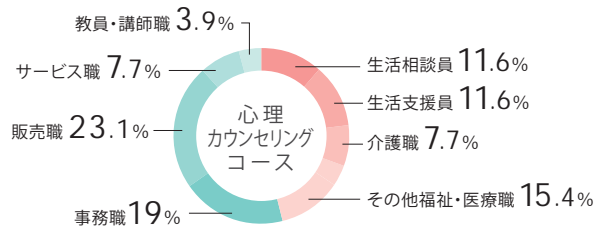
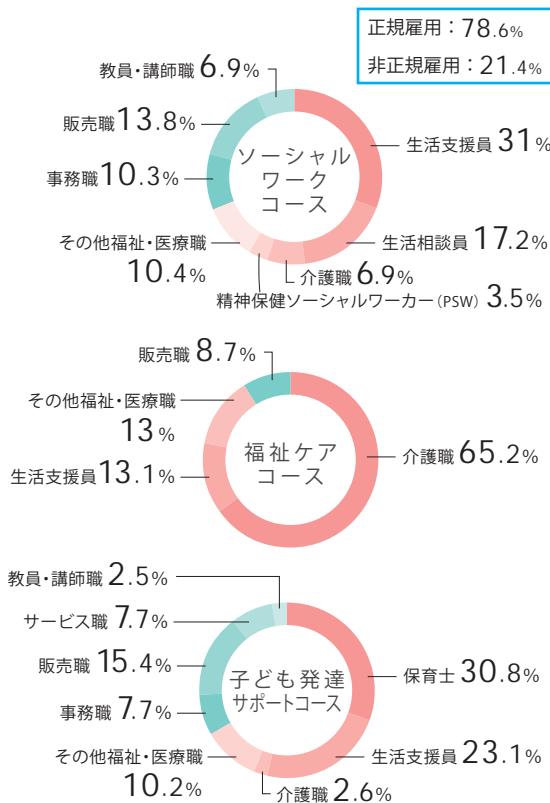
(※就職率=就職者/就職希望者)

学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	進学者数
看護学科	83人	83人	83人	0人
福祉心理学科	133人	119人	117人	12人

・看護学科卒業生職種別就職状況



・福祉心理学科卒業生職種別就職状況



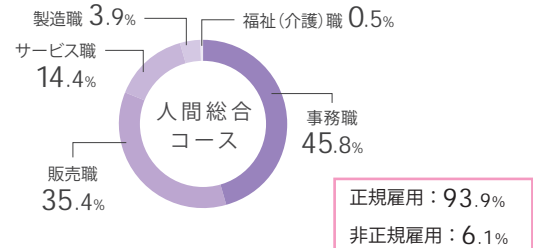
新潟青陵大学短期大学部 学科別就職率・内訳

人間総合学科人間総合コース	97.3%
人間総合学科介護福祉コース	100%
幼児教育学科	100%

(※就職率=就職者/就職希望者)

学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	進学者数
人間総合学科人間総合コース	216人	186人	181人	11人
人間総合学科介護福祉コース	33人	31人	31人	1人
幼児教育学科	128人	120人	120人	6人

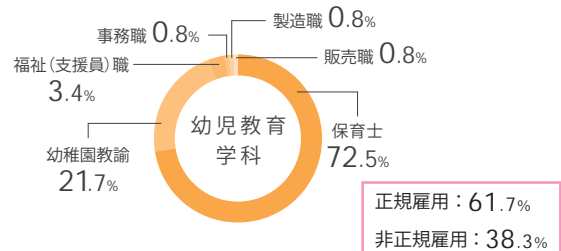
・人間総合学科人間総合コース卒業生職種別就職状況



・人間総合学科介護福祉コース卒業生職種別就職状況



・幼児教育学科卒業生職種別就職状況



大 短 院

平成27年度新任教員と
平成26年度退職教員のご紹介

【平成27年度の新任教員】

〈大学院看護学研究科・大学看護学部〉



渡邊 タミ子(教授)

私の専門分野は小児看護学で、看護系大学で看護教育に携わるようになってから約20年が経過します。学生には、自分の強みや個性を活かした看護専門職者になって欲しいと期待し、共に精進を重ねていきたいと思っています。

〈大学院臨床心理学研究科〉



中村 協子(教授)

専門は臨床心理学です。総合病院の精神科で長年臨床心理業務に携わってきました。その後大学の学生相談に関わり、これからは大学院と臨床心理センターを学生さん達と一緒に充実させていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

〈大学看護学部〉



森田 千穂(助手)

母性看護学、助産学領域を担当いたします。臨床での経験を活かして、学生とともに考え、学びを深めていきたいと考えております。また、教育・研究能力を高められるよう自己研鑽に励みたいと思います。

〈大学福祉心理学部〉



齋藤 智(准教授)

キャリアセンターでの勤務経験を活かし、引き続き大学及び短期大学部のキャリア教育と新たに地域貢献センターの業務を担当させていただきます。地元新潟に密着し、地域貢献できる人材の育成をめざしたいと思っています。

〈短期大学部人間総合学科〉



木村 一雅(教授)

食品企業の研究所で、乳酸菌、ビフィズス菌の消化管内での機能について、糖質科学の面から研究を行ってきました。短大では栄養学、食品安全学等を担当します。経験を基に食品開発の魅力を伝えられればと思っています。



遠藤 かえで(准教授)

検定英語等の指導と短大から4年制大学への編入学を希望する学生の指導を主に担当します。一人でも多くの学生の志望が実現するようお手伝いをしていきたいと思っています。

〈短期大学部幼児教育学科〉



高橋 淳子(教授)

障がい児保育、児童・家庭福祉論、社会的養護等の科目を担当いたします。青陵学園との縁、先生方や職員の方たちとの縁、そして、学生さんとの出会いを大切に、丁寧に関わっていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【平成26年度で退職した教員】

大学看護学科 / 河内 浩美(助教)

短大人間総合学科 / 荒井 威吉(教授)、今泉 晴行(准教授)、
本間 美知子(助教)

短大幼児教育学科 / 吉川 明守(教授)

大 短 院

大学・短期大学部・大学院
平成27年度新入生数のご報告

【新潟青陵大学】

看護学部 男子6名、女子86名 計92名

福祉心理学部 男子26名、女子111名 計137名

【新潟青陵大学大学院】

看護学研究科 男子1名、女子6名 計7名

臨床心理学研究科 男子4名、女子6名 計10名

【新潟青陵大学短期大学部】

人間総合学科 男子8名、女子225名 計233名

幼児教育学科 男子3名、女子127名 計130名



(平成27年5月1日現在)

大学オープンキャンパス

<開催日時>

平成27年7月25日(日)、8月8日(土)、8月9日(日)

いずれも13:00~16:30 要予約

<プログラム>

学内見学ツアー、学部・学科・
コース紹介、入試説明、模擬授業、
体験コーナー、個別相談、先輩と
のフリートーク など



短大オープンキャンパス

<開催日時>

平成27年6月15日(土)、7月11日(土)、8月1日(土)

いずれも10:30~14:00 要予約

<プログラム>

学科・コース説明、入試説明、お楽
しみイベント、キャンパス自由見
学、分野・コース紹介(人間総合学
科)、授業内容紹介・実技体験、ピアノ
体験・初心者講習(幼児教育学科)など



大学院臨床心理学研究科説明会

<開催日時>

平成27年7月4日(土)

14:00~17:00 予約不要

<プログラム>

教育内容紹介、対談、入試実施概
要説明、個別相談、施設・臨床心理
センターツアー、院生・修了生との
フリートーク など



大学院看護学研究科説明会を開催しました

平成27年6月6日(土)、大学院看護学研究科説明会を開催しま
した。この説明会は、看護学研究科(修士課程)への進学を希望
している方々を対象としており、
研究科の紹介や入試説明、英語
の入試解説などを行うものです。
来場者の方々は、各領域の教員
や大学院生とじっくりと時間を
かけて相談されていました。
ご来場ありがとうございました。



新しい幼稚園園舎がまもなく完成します

平成25年度より進められている本学1、2号館と幼稚園園舎を
改築する施設整備計画のうち、すでにスタートしておりました
幼稚園園舎の新築工事がまもなく終了します。

6月19日(金)、途中経過・内覧会を実施し、大部分が完成してい
る真新しい園舎の中を建築担当者の方から案内していただき
ました。

幼稚園園舎は7月27日(月)に引渡し予定で、その後、引越し作
業が行われます。

なお、今後は旧園舎の取り壊しおよび本学1、2号館の工事を予
定しています。ご来学の皆様には引き続きご迷惑をおかけい
たしますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。




編集後記 NIIGATA SEIRYO NEWS 2015/6 June No.11

新潟青陵大学及び同短期大学部は、今年度も定員を超える学生の皆様から
入学していただくことができました。より深い学びを目指し改組転換した大学看
護学部、福祉心理学部も新しい学びへの期待に胸を膨らませた学生で活気に
あふれています。

紙面でのご紹介の通り、キャンパスリニューアルの第一期工事として、将来の
認定こども園化を見据えた新幼稚園棟が7月に完成いたしますが、引き続き、図
書館を学びの中心に据え、地域に開かれた建物として設計された大学・短大棟
の建設が開始されます。この新しいキャンパスを拠点として、自治体等や大学間
の連携を深め、地域の保健・医療・福祉の中核を担う人材育成・地域貢献に積
極的に取り組んでまいります。引き続きご指導・ご協力をお願い申し上げます。

(事務局長 栗林 克礼)

 **新潟青陵大学**
新潟青陵大学短期大学部

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
Tel : 025-266-0127(代) Fax : 025-267-0053
URL : <http://www.n-seiryu.ac.jp>

[オープンキャンパス・入学試験に関するお問い合わせ]
アドミッションズオフィス
Tel : 025-266-8833 Fax : 025-266-9642
E-mail : ao4@n-seiryu.ac.jp (大学)
ao2@n-seiryu.ac.jp (短大)